



利5
番 2848
巻

小言
玉足文

序 廻文



梅草さく蘇中 雛ふ 蔓又 青稚子素
ひをり 阿け 蟻 這 田植 三のきき 阿山や
那川の 果合 甘く 穂 荻 け 秋を 神 扇
收 有る 紅糸 心 冬 夜の 夜乃
夕さ 今 乾 乾 酒 飲 水 俳 諧

綴けし黄の意はれをい序のかん
の有り等のい一雙ふふ子咲舞
くさし梅子

甲申春

芳浩

戲書



獨吟

松のきのやん
後山や車^の書
けん者つふて疎きつ之形
村くお代若人えむいん
いしよ 舟若のいふ夜し
舟にのるいさよ子束との麻葉ッ
きつ萩いしよ二階糸

戲相言謎なるそは葡萄酒
きつたはなはなはなはなは
昨日八日和川をたつ火神抱り
そはなはなはなはなはなは
指急し若怪異形勢志けか
袋嶮しき家ハきりりり
又の虫さすはなはなはなは
志きりりりりりりりりりり
能くもはなはなはなはなは

更くもはなはなはなはなは
きりりりりりりりりりりり
子さしりりりりりりりりり
古紙衣めきりりりりりりり
かば笠貫るもはなはなはな
今朝蟻蛾ハ御代はなはなは
本紙タナはなはなはなはな
九鶴うとはなはなはなはな
開しりりりりりりりりりり

来りて舟へん目さめはそん胸^{ササ}
砂酒^サらんさけんさせ〜め
枝鞭のち〜勝那陣き〜え
弓張〜ふ〜一雁白んゆ
兼層掃苔ふ髪こ〜し九月^ノ雲
瘦畑荏胡麻孫、たをちや
榮菊〜枯葉着る〜き〜
人来〜河豚喰ふ〜猫
水車杵白溶木〜〜〜積〜

菲

内乃草ふ〜〜〜
徒道

此こに〜朝花我〜れ酒〜
一鳳

永〜日〜野樂梅〜光木〜事
橘青

鳥と雁鳥の列衣〜若中〜
旭山

お〜し〜吼沸幸威義の袖松矣
卧央

筆乃墨つゝり手扱ハ簾の蝶 而后

汝の目ぞくろく光ありく燕うる馬勒

詠つて片々ももと燕哉 大ノ 百歌

董咲も海井也いもいもいも 大ノ 緒有

高井折妻稚子某待作後 大トマリ 二扇

ワ~~~~は~~~~あ~~~~の童らハ キヨコ 琴左

蝨は~~~~程下れつ摺きりあ 全 加笛

批把の花外口竈の繩乃灰 榎渚

田の月々き海~~~~ 南タカ井 南岳

采~~~~や若葉にいふ葉ハ坂辻 僧 寸龍

山寺

梅乃實後庭也
衣此乃樂也
布泉

小田

多々すに九十九
原肩蓮傳
蕙山

毒林

木々乃為
何木
每花乃木
榎亭

八島

流弓取
春と見ゆ
事
曾洛

淀

柴敷
つ所野
遠乃
響月
簪

押洲法印

宇津山鼻取地藏

地蔵堂あると名くらた子くらニキマリ月倉

葛越の藪さく寒やのこ立 来鷲

海の鳴るこまき浪の象溟は 已伯

須戸風とと終ふ須と沖鱗 いとを

月逢の野萩のさほの本曾と其 陸人

我軒端砂柔いふん萩乃川 珂水

我菴と見透る大堰川 風荷

家田ひすの翅多カハ雀隅田川 途桂

火灯の萩咲先を歎も故 昆明

鳥の毛は深山寒く大祝さしと

さけぬ茂化まをこり子
えもあしお 雪いもゆり芽
萌含て木中もほけけい

木も竹も月春来つ茂化も木 途桂

黄ふや〜〜と終〜〜と蝶奔 浦六

賤家定お毒這子お万お〜 美仙

坂にのこ夜維子聞と藁お笠 ^故胡平

簾買や春音廓八を五履 已伯

月涼又能い小枝と半由尺束つ 寸虹

湯月や千思市町荷角馬人 蒼若居

長〜月と運〜を羅羅沖津綱 吐城

之朝乃多反

素不二乃詩賦

之礼之俗

朝望曾洛



丹

